

県立柏陽高等学校における学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を次のとおりに開催した。

審議会等名称	県立柏陽高等学校 令和元年度 第1回学校運営協議会
開催日時	令和元年度7月6日(土) 14:00~16:00
開催場所	県立柏陽高等学校 大教室
[役職名] 出席者	<p>[委員] 赤羽 三枝 (元県立高等学校長)</p> <p>田中 均 (柏樹会会長・東京理科大学教職教育センター特任教授) 欠席</p> <p>芳賀 慈 (横浜市立本郷台小学校長)</p> <p>半澤 俊和 (横浜市立本郷中学校長) 代理出席 杉田 仁 (副校長)</p> <p>星崎 雅代 (横浜市栄区区長)</p> <p>細田 利明 (連合町内会自治会会長)</p> <p>丸山 厚 (東京工業大学教授) 欠席</p> <p>味上 篤 (横浜市消防局栄消防署長) 代理出席 羽柴 和彦 (庶務課長)</p> <p>吉川 綾 (柏陽高等学校 PTA 会長)</p> <p>井坂 秀一 (柏陽高等学校長)</p> <p>[事務局] 山田 玲子 (副校長)、西海 達也 (教頭)、森谷 久一郎 (事務長)、川名 信義 (総括教諭)、間辺 広樹 (総括教諭)、川上 晃宏 (総括教諭)、千葉 健史 (総括教諭)、甲斐 順 (総括教諭)、米須 宏志 (総括教諭)、芳賀 真理 (教諭)、須賀 脩太郎 (教諭)</p>

審議 (会議) 経過

開会

資料確認および記録写真撮影のお願い

1 校長あいさつ

(井坂校長)

多忙の中、集まっていたいただき感謝する。第1回目の学校運営協議会であり、まずは委員の皆さまに今の柏陽高校を知っていただきたく思う。

2 学校運営協議会の開会にあたって

(1) 学校運営協議会の委嘱

(井坂校長)

神奈川県教育委員会から、委嘱状 (本校学校運営協議会委員として任命する) をお渡しする。

(2) 学校運営協議会委員及び事務局員紹介

(赤羽委員)

柏陽高校には、教員時代の平成17年度から3年間勤務し、総括教諭も経験し、教員として濃い時間を過ごした。縁があって、学校運営協議会委員として話があったので精一杯務めたい。

(芳賀委員)

柏陽高校は学区の中にあり、本郷台小学校の卒業生も進学している。小学生にとっても憧れの高校である。委員に選ばれ光栄に思う。

(半澤委員) <代理：杉田副校長>

現在、柏陽高校の水泳部が本校のプールで活動を行っているが非常に礼儀正しい。以前からソフトボール部と共に合同練習を行っている。今後、部活動をはじめとしてさらなる交流を期待したい。

(星崎委員)

栄区ではセーフコミュニティ(安全・安心のまちづくり)を進めていることから、高校生の視点からの意見もいただきたい。

(細田委員)

柏陽高校は以前に比べて、地域の中に根ざした学校になってきていると感じている。

(味上委員) <代理：羽柴庶務課長>

消防署として生徒の安心・安全を守れるように努めていく。

(吉川委員)

保護者代表として努めていく。

(井坂委員)

改めて宜しくお願ひしたい。

(3) 学校運営協議会について

(井坂委員)

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校と保護者や地域の方々が力を合わせて学校の運営に取り組むことができる仕組みで、学校の運営や必要な支援に関して協議する機関である。協議会の委員は、保護者や、地域の方々、学識経験者の方々から教育委員会が任命する。

学校運営協議会は、学校のおきパートナーになるものとし、機能は3つある。①学校運営の基本方針を承認する。②学校運営について意見を述べることができる。③教職員の任用について教育委員会の規則に定める事項において、意見を述べるができる。

県立高校(中等教育学校も含む)では、今年度から全ての学校で、このコミュニティ・スクールが始まった。

[資料：神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則] 第3条・第5条・第7～8条の確認

[資料：神奈川県立学校における学校運営協議会の運営等に関する要綱] 第9～10条の確認

(4) 会長及び副会長の選出

(山田副校長)

「神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」の第7条(会長及び副会長)により、選出は互選となっている。

(吉川委員)

柏陽高校では初めての学校運営協議会ということであり、県立高校で校長を経験され、また柏陽高校でも教員として勤められた赤羽委員を会長に推薦する。

(山田副校長)

異論がないようなので、赤羽委員を会長とする。続いて、副会長の選出に移る。

(赤羽会長)

柏陽高校では初めての学校運営協議会であり、会長を補佐していただく意味でも、副会長は柏陽高校の井坂校長にお願いしたい。

(山田副校長)

異論がないようなので、井坂委員を副会長とする。

次に次第「3 協議」に移る。「規則」に基づき、ここからは、赤羽会長に議長をお願いする。

3 協議

(1) 学校運営協議会の組織について

ア 学校評価部会

(赤羽会長)

[資料：神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱]の第10条（部会の設置、運営）を確認する。事務局に願います。

(山田副校長)

要綱の第10条を確認願う。

(赤羽会長)

部会について何かご意見はあるか。

(井坂副会長)

学校評価部会について、委員5名から8名程度とあり、会長が指名するとある。私を含め10人の方に委員をお願いしており、学校評価については校長として皆さまそれぞれのお立場からのご意見を頂戴したい。8名程度とありますので、委員全員の皆様に学校評価部会の委員になっていただきたい。

(赤羽会長)

異議なしということで、10名すべてを学校評価部会の委員として指名する。

学校設置部会の設置についてはいかがか。

イ 学校設置部会

(井坂副会長)

学校設置部会については、学校の安全、防災等に関する部会の設置をお願いしたい。3年前の11月、本校ではノロウイルスの蔓延により3日間学校を閉鎖した。その際、栄区の方々には毎日学校においでいただき、全職員に対し、急遽、感染症の基礎知識の講演、実際に校舎全体の除菌の指導、用具の支援等三日間お世話になり、まさに栄区の力でピンチを乗り越えることができた。

また毎年、栄消防署の方には複数回学校に来ていただくなど、教員も生徒も救急蘇生法や防災訓練の指導をいただいている。地震や豪雨などの防災、また、日常的に安全安心な学校づくりを推進するため、例えば「学校安全防災部会」のようなものの設置をお願いしたい。

(赤羽会長)

異論なしということで、学校設置部会として「学校安全防災部会」を承認する。「学校安全防災部会」の委員については、会長が指名することになる。

(井坂副会長)

要綱の第10条、第4項には、「学校設置部会は会長が指名する委員のほか、当該校の教職員及び委員以外の者を構成員とすることができ、人数に定めはない」とある。構成員については調整が済んでいないので、しばらくお時間をいただき、会長に報告し、委員の指名をお願いしたい。

(赤羽会長)

委員の指名については、構成員の調整を待って、後日私、会長の方から指名する。

(2) 令和元年度神奈川県立柏陽高等学校の学校運営について

(赤羽会長)

協議の前に、柏陽高校について、【報告】をお願いする。次に、「3 協議」の(2)のア、イ、ウ、エの事項の説明をお願いし、その後承認の手続きをとるために質疑を行う。【報告】について事務局に願います。

報告

(研究・広報グループ 間辺総括教諭)・・・(パワーポイントを使い説明)

- ・ 柏陽高校の教育活動の柱は授業である。
- ・ 育てたい生徒像・身に付けさせたい力の軸は「グローバル社会における真のリーダー」である。
- ・ 学力向上進学重点校として、「生きる力」や「主体的・対話的で深い学び」の実現に職員全体で取り組んで

- いる。例えば、生物「メダカの配偶行動観察とメンデルの法則の実証」、音楽と情報で行った「プログラミング言語を用いたリズム学習」、国語総合「小論文を書くために」などがある。
- ・1学年の「科学と文化」をはじめとして、以前より探究学習を実践してきている。その延長として外部の学会に参加する生徒もいる。
 - ・グローバル教育にも力を入れている。日々の授業に加えて、海外語学研修やディベート実践など豊富なプログラムを提供している。英語部も全国大会に出場している。
 - ・「柏陽の授業」を通して、表現力・創造力・論理的思考力など「人間力」の向上を目指す指導をしている。
 - ・土曜講習や夏季・冬季講習、キャリアアップ講座も充実している。
 - ・生徒の進路を実現させるための計画的な進路指導をおこなっている。
 - ・新たな大学入試では、「探究的な学習」「思考力・判断力・表現力」などの力が求められるとされるが、基本的には本校は以前からおこなっている。今後は、それをさらに発展させていく。

(森谷事務長)「資料：柏陽高校の教育活動について」P1

- ・県教育委員会の県立学校再整備計画に基づき、大規模地震に備えて、教室等及び芸術棟の耐震工事、老朽化対策、トイレの改修をおこなっている。現在、芸術棟工事の終盤にさしかかっている。
- ・来年度、グラウンドの全面改修を予定している。
- ・創立50周年記念事業として、いちょう広場(中庭)整備事業がまもなく開始される。
- ・プールの漏水に伴い、現在、本校水泳部は本郷中学校のプールをお借りして活動している。プール補修工事の日程については現在、目処が立っていない。

(総務・管理グループ 川名総括教諭) P2～P7

- ・「環境衛生関係」「防災関係」「PTAとの連携」「同窓会との連携」「学校会計の取り組み」を柱としている。
- ・耐震工事に伴いトイレ改修をおこない、その後、手洗い洗剤自動ディスペンサーも設置し、生徒からは好評である。
- ・昨年度の防災訓練では、栄消防署にもご協力いただいた。

(研究・広報グループ 間辺総括教諭) P8～P10

- ・「学校案内の充実」「HPの充実」に特に力を入れている。
- ・グローバル教育に関しては、それぞれの活動の目的を明確にし、中学生やその保護者にも分かりやすいように工夫している。

(教務・学習グループ 川上総括教諭) P11～P13

- ・教科ごとにPDCAサイクルをおこない、組織的な授業改善に努めている。

(進路指導グループ 千葉総括教諭) P14～P17

- ・50期生(2019年3月卒業)は、現役生3人に1人が国公立大学に合格した。
- ・大学新入試が始まることも踏まえて、全学年の保護者に対して進路説明会をおこなった。
- ・1～2年生はクラウドサービス「Classi」を活用し、新入試で問われる「活動の記録」に対応できるようポートフォリオの作成をおこなっている。
- ・英語外部検定試験については、生徒に最も適したものを検討していく。

(生活支援グループ 甲斐総括教諭) P18～P20

- ・今年度の課題として「生徒の公共の場所での一層のマナー向上を図る」が挙げられ、特に、本校前の交差点における指導を強化している。
- ・6月に「第1回 学校生活に関するアンケート」を全校生徒対象におこない、現時点でいじめ等はないことが確認された。
- ・スクールカウンセラーにも年間17回来校してもらっている。

(活動支援グループ 米須総括教諭) P21～P23

- ・「部活動」「学校行事」「生徒会」を担当している。
- ・部活動加入率は90%を超えており盛んに活動している。
- ・囲碁将棋部は全国優勝を果たした生徒もいる。
- ・栄区との協働として、部活動で表彰をいただいたり、本校の文化祭コラボレーション企画にも栄区の団体にご参加いただいている。

ア 柏陽高校のミッション・学校目標

(井坂校長)

- ・「教育課程・学習指導」「生徒指導・支援」「進路指導・支援」「地域との協働」「学校管理・学校運営」の5つの視点から学校評価をおこなっている。
- ・本校は平成30年4月、県教育委員会より「学力向上進学重点校」に指定され、県立高校の牽引役としての役割が期待されている。
- ・全県立高校の中で、いわゆる難関と称される大学への現役進学において高い実績を上げることが求められている。
- ・令和元年度学校目標の評価の観点として、「現役進学率（国公立30%、早慶上理も含み50%）の達成状況はどうか」や具体的な方策として「本校の教育活動について、保護者、地域など、より広く情報発信に努める」などを挙げている。これを踏まえて年度末に評価いただきたい。

イ 学校組織の編成について

(山田副校長)

- ・「資料：令和元年度 学校要覧」P17の確認
- ・令和元年5月1日現在、105名の職員が在籍している。

ウ 教育計画について（含・教育課程の編成について）

(教務・学習グループ 川上総括教諭)

- ・「資料：令和元年度 学校要覧」P11～P12、および「資料：平成31年度入学者向け学校案内」P8の確認
- ・国公立大学進学を意識させることに加え、将来の国際社会で活躍できる人材育成のため、2年生までは文理の類型選択は行わず、1科目を除いて全員が共通の科目を学ぶ。

エ 予算に係ること

(森谷事務長)

- ・「資料：柏陽高校のミッション・学校目標等」P8～P9の確認

(赤羽会長)

学校運営についての多岐にわたる説明があった。「規則によれば」説明のあった内容に対して、協議会として承認する必要がある。令和元年度の神奈川県立柏陽高等学校の学校運営に係る基本的な方針について、全員賛成ということで、当協議会として、承認する。

(3) その他（意見交換）

(芳賀委員)

- ・新学習指導要領の中で、特に高校での「探究」という文言が多く掲げられていると聞いているが、柏陽高校では以前から質の高い「探究学習」を実践してきていると聞き、非常に強みであると思う。
- ・教科の枠を超えて、授業改善に取り組んでいる学校風土がよい。
- ・グローバル教育を核としながらカリキュラム・マネジメントがなされている。
- ・生徒の質も高いが、教員のレベルも高いのではと感じた。人材育成の観点からも話を聞きたい。

(井坂校長)

- ・発展途上ではあるが、本校の職員は前向きに教育活動に取り組んでいる。生徒が目の前にいて、その期待に応えたいという気持ちを持った職員が多い。
- ・普段から、お互いに授業を見学しあう雰囲気があり、刺激しあいながら成長しあっている。

(杉田副校長（半澤委員代理）)

- ・中学校で授業改善が進められているが、高校においても改善に向けた取り組みがなされていると感じた。
- ・学校生活アンケートで挙げた、生徒の声を聞きたい。

(生活支援グループ 甲斐総括教諭)

- ・いじめがないことは確認した。
- ・若干数、「授業に対してさらに高いレベルを求める」「友人関係」について述べた生徒もいた。

(羽柴庶務課長 (味上委員代理))

- ・地域との連携が実現できていると感じた。

(星崎委員)

- ・「栄区に柏陽あり」と、地域にさらに浸透していくことを願う。
- ・今月、参院選を控えているが、栄区は市内でも投票率が高い。若年層の投票率の向上を図るため、柏陽高校にも文化祭等でご協力願いたい。
- ・栄区は囲碁が盛んである。将来的に囲碁将棋部との連携が実現できればありがたい。

(活動支援グループ 米須総括教諭)

- ・昨年度、囲碁将棋部も栄区に表彰をいただき、ありがたい。今後の活動にも期待してほしい。

(細田委員)

- ・コミュニケーション能力の育成を図っていると聞いたが、協調性を部活動や学校行事を通して身に付けて、社会で発揮してほしい。

(吉川委員)

- ・ソフト面が充実していると感じた。保護者にも発信していければと思う。

(赤羽会長)

- ・自分自身が柏陽高校に勤務していた頃、職員は走り回っていた記憶があるが、今はそれ以上に多忙であろうと感じた。

- ・吉川委員に伺いたい。中学校と高校入学後のお子様の様子はどうか。

(吉川委員)

- ・一つでもレベルの高い学校に、という思いで柏陽高校を目指してきた。
- ・柏陽高校の取り組みを吸収していると感じる。

(赤羽会長)

- ・芳賀委員に伺いたい。小学生と比べて高校生の様子はどうか。

(芳賀委員)

- ・3年前、競技かるた部が来校してくれたことが、とても刺激になった。小学生にとって、少し先の先輩の姿を自分とつなげられる交流の機会となっていた。また、お願いしたい。

(赤羽会長)

- ・議事の進行にご協力いただき感謝する。進行を事務局に戻す。

4 事務局から

(1) 今後の日程等について

(山田副校長)

- ・当協議会は年に3回実施を計画している。最終回は、学校評価となり、令和2年の3月開催を予定している。また、皆さまには是非、生徒の様子を見ていただきたいので、文化祭（9月28日（土）又は29日（日））の実施を考えている。
- ・「学校安全防災部会」については、早めに構成員を決め、赤羽会長にお示しし、会長から委員の指名をいただき、事務局から皆さんにお知らせする。また、「学校安全防災部会」の開催については、該当される方の日程を調整し、開会する予定である。
- ・委員の皆さまには、例えば、学校行事や11月の公開授業については、その都度ご案内を差し上げる。また、いつでも学校を公開しており、気軽においでいただき、学校の様子をご覧いただきたい。

(2) 校長挨拶

(井坂校長)

- ・今日は皆さまから大変ありがたいお言葉をたくさんいただき、勇気付けられた。
- ・さらに交流を深めながら地域に根ざした学校として頑張りたい。
- ・ご多忙の中、お集まりいただき本当に感謝する。

閉会

会議資料	<ul style="list-style-type: none">・神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則・神奈川らしいコミュニティ・スクール・令和元年度 学校要覧・柏陽高校の教育活動について・柏陽高校のミッション・学校目標等・キャリアアップ講座一覧・平成31年度入学者向け「学校案内」・「授業の柏陽」パンフレット・本校50周年記念誌
次回開催予定	9月28日（土）
問合せ先	県立柏陽高等学校 副校長 山田玲子 電話番号 045-892-2941